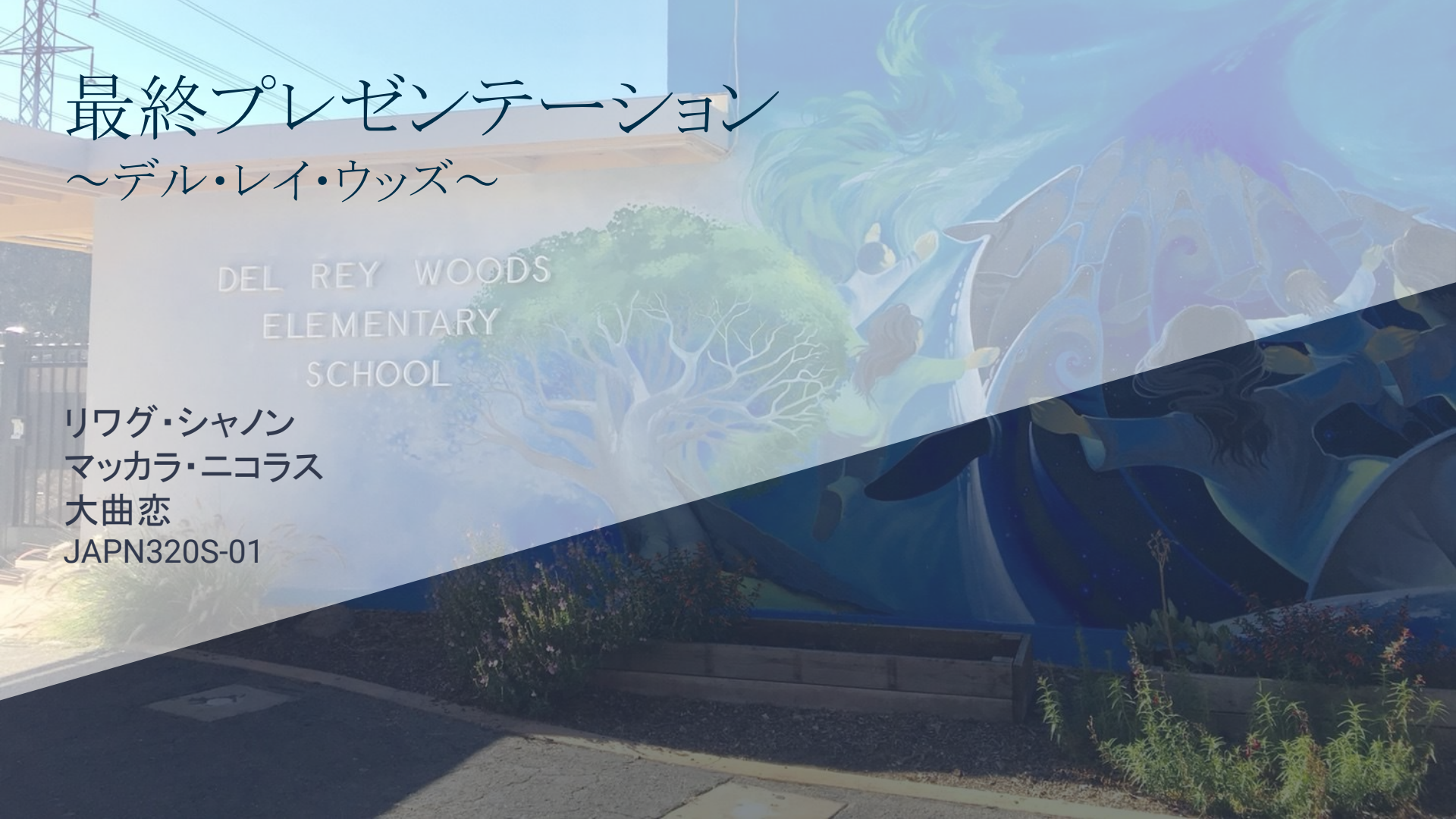


# 最終プレゼンテーション

～デル・レイ・ウッズ～

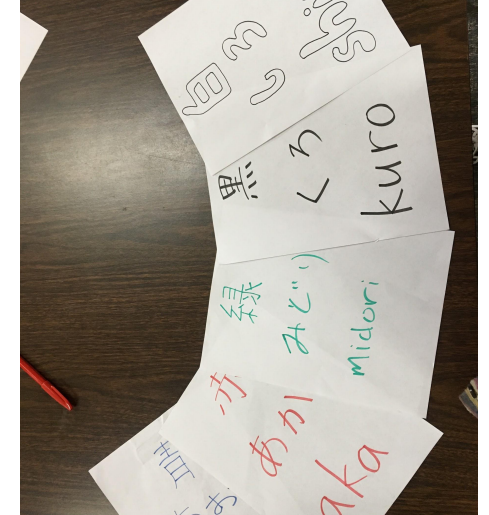
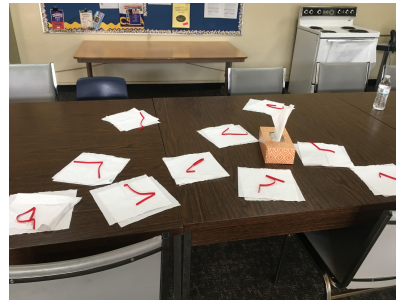
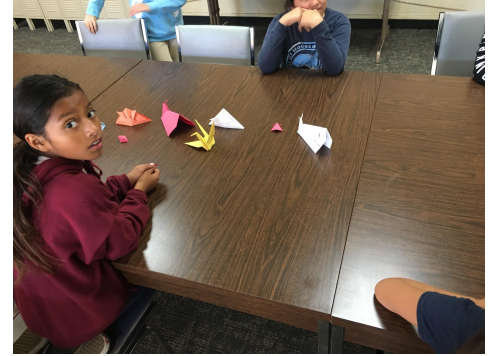
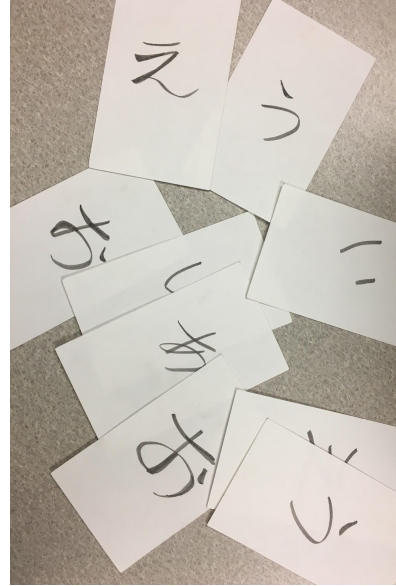
DEL REY WOODS  
ELEMENTARY  
SCHOOL

リワグ・シャノン  
マッカラ・ニコラス  
大曲恋  
JAPN320S-01



# 今までの活動

1. ジャンケン列車と挨拶
2. 動物の名前とカタカナでネームタグ作り
3. 日本食の紹介と箸の使い方
4. 平仮名で名前を書く、かるたであ行を教える
5. 折り紙
6. 日本のハロウィン文化、日本の妖怪、紙芝居
7. てるてる坊主作り
8. かるた(あ行・か行)
9. 色について
10. 日本のお金について
11. 日本のお正月の紹介・年賀状作り
12. おにぎり作り



# 日本食の紹介 と箸の使い方



**授業の目的:** 箸の使い方や日本料理の名前や食べ方に関する単語を教える事によって、日本の食文化について知識を持ってもらう。(おにぎり/すし/納豆)

## 活動の形:

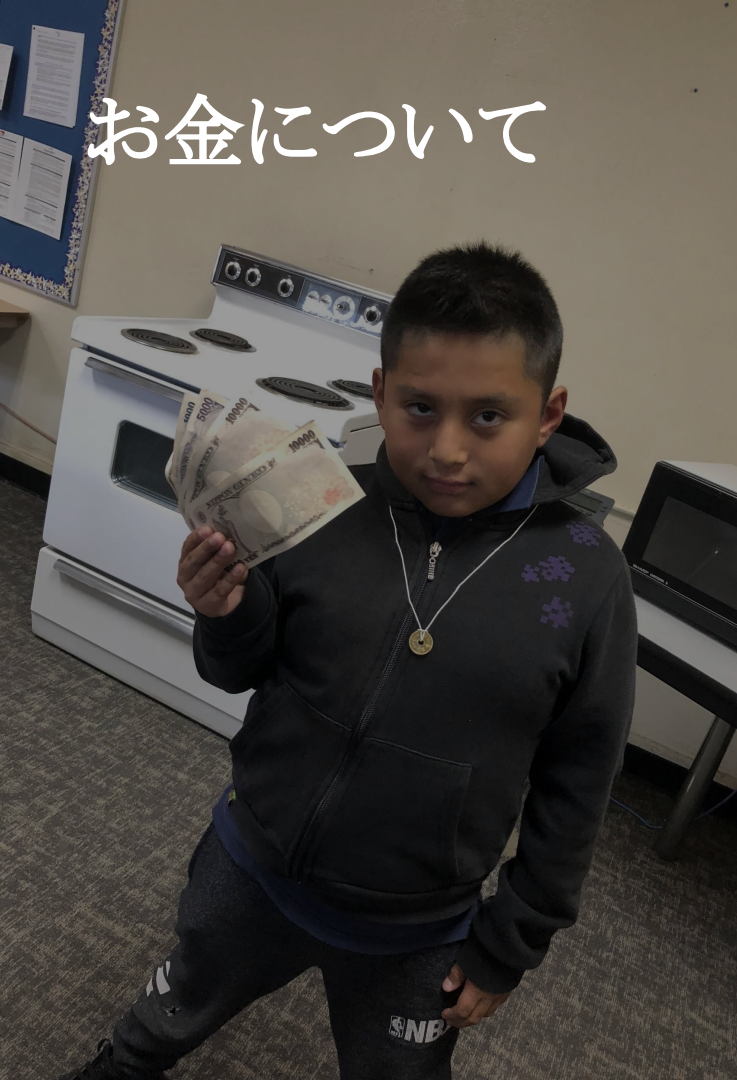
- ① 代表的な日本食を紹介
- ② 箸とシリアルと二つのボウルを用意し、一つのボウルからもう一つのボウルにシリアルを動かす形で競争した。
- ③ ゲームしながら、「いただきます」など食べ方に関する言葉を教え、日本文化を少し説明した。

# なぜうまくいったか、何が分かったか

この授業のおかげで、子供達自身が活動に参加できるような、アクティブな活動を子供達は好んでいると分かった。そのため、手や身体を使った活動をした方がいいことが分かった。これからの活動に応用することにした。



# お金について



**授業の目的:** お金というものは多種類存在するということや、お金に関する文化の違いがある事を知ってもらい、海外のお金に興味を持ってもらう。

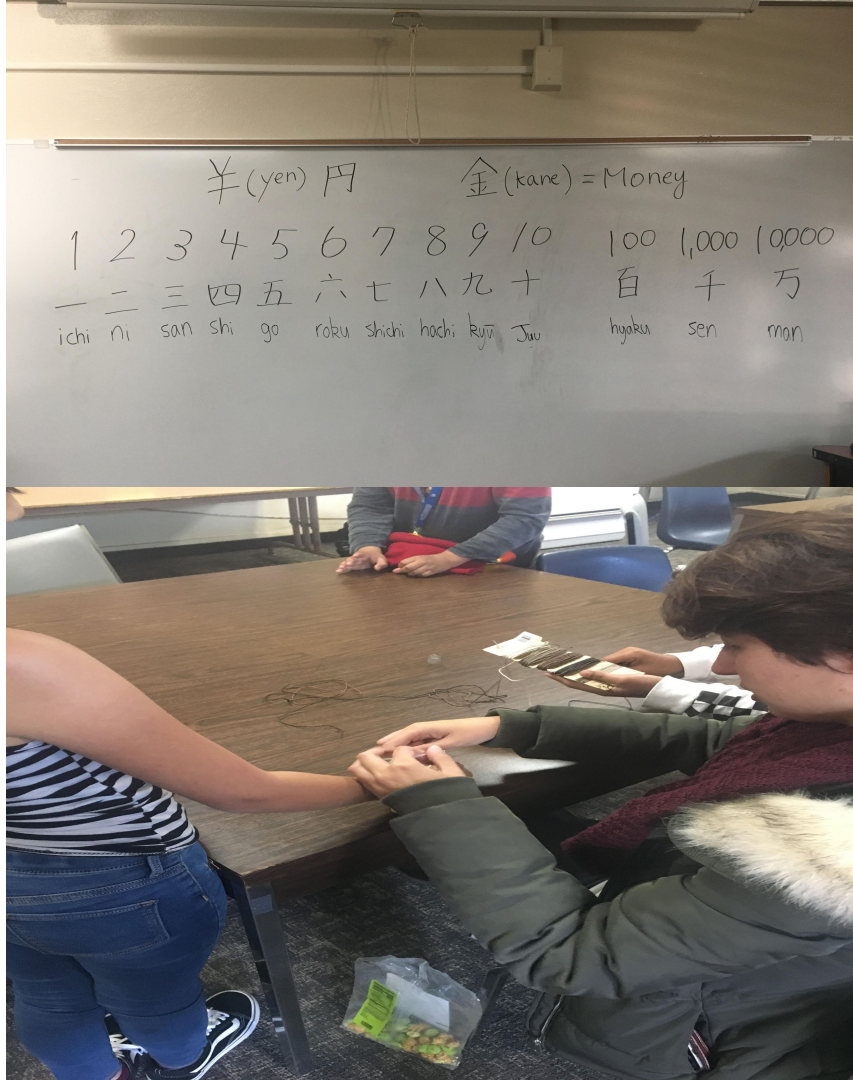
## 活動の形:

- 日本語の数字1～10の言い方を紹介
- 円の紹介
- 日本のお金の文化を話した
- 日本語でお金を計算する
- 5円玉のネックレス作り

# お金について

上手くいった活動の形を今回の活動に応用させた結果:

- 生徒達の集中力をしっかりと保った
- 異文化(海外のお金)に関する関心や好奇心を集めた
- 円に関する沢山の質問が出てきた
- 生徒たちは積極的に自分から日本語の数字や数え方を学ぼうとした
- 日本の文化を実際(物理的)に持ち帰ることができた



# サービスマーケティングから学んだこと～シャノン

小さい子供に何かを教える事の難しさや教育に関する知識をもらった

- 生徒達をうまくコントロールする方法
- 子供の興味をうまく集めるのにどうすればいいか

地域の人々をもっと深く理解できた

ただ、生徒達の背景のおかげだけではなく、サービスマーケティングのグループの中でも違う見解があるので、多様な教育における独特の問題や担当の仕方を学んだ

# サービスラーニングから学んだことごとごと～ニコラス

- ある分野に関する知識を持っているからといって誰かにその知識を伝えることを上手くできるわけではない。要するに誰もが教師の仕事を手巧くできるわけではない。
- 生徒のこと(背景や興味や性格など)を知らないと、生徒とちゃんとした関係を作りにくく、自分が伝えたいことも受け入れられにくい。
- 教えるのは一方的ではなく、双方が学ぶ事がある。
- 今まで関心を持っていなくても、持つきっかけを与えるのは教師の一つの仕事。
- コミュニティーに属している人として自分からそのコミュニティが繁栄するために出来る事があるかぎり、しっかりと行動するべきだ。



# サービスマーケティングから学んだこと～恋

- 子供達に何かを教える大変さ(集中して話を聞いてもらう方法など)
- 授業で学んだ外国語や異文化を学ぶ事で得られる様々な利点を授業に反映させるように工夫するのが難しかった。
- 子供達も自分達も、活動を行う上で自分が持っている文化的側面に気付くことができた
- 外国語や異文化を学ぶ大切さ:単に知識が増えるだけではなく、それ以外の側面へ大きな影響を与えるということ
- サービスマーケティングが子供達の多様性に繋がるきっかけに大きく関わっているということ学んだ

# Outcome 1~ Self and Social Awareness

- ・自分達が日本文化を教えることで自分が日本人であるということや、子供達は自分が持つ文化を認識することが出来た。お互いがその文化や特徴を理解し、比較できるようになることで、自分のアイデンティティーに気づく機会にも繋がっている。(恋)
- ・メキシコ系の生徒が多く、彼らと働いているうちに自分の背景や経験についてもっと深く考えさせられた。さらに、その共通のアイデンティティーや経験を使うことによって子供達の理解を手伝おうとした。(シャノン)
- ・4年前の自分が詳しくなかった文化と外国語の授業を自分と異なる背景を持つ子供達に教えることで、以前思っていたより様々な面で共通点があるということ。(ニック)

# Outcome 2 ~ Service and Social Responsibility

サービスというのは一方で権力などを持つ人からその様な特権を持っていない人に与えるという目的ではなく...

- 同じコミュニティーに属している人だからこそ、なるべく自分ができることでお互いに支え合う(例:放課後の形で)
- (短期間で)～
- (長期間で)～

\*優性というのは色々な形で存在する。優性のグループは多くの場合は情報を独占する傾向がある。教師の一つの責任は誰にでも背景を問わず利益を与える情報を、必要としている方にあげる。

# Outcome 3 ~Community & Social Justice~

コミュニティスキャンに基づくと、

- ヒスパニック系の子供達が多い(スペイン語を話せる子が多い)
- 給食費免除を受けている子が多い＝両親の収入が多くはない

しかし、彼らのバックグラウンドに関わらず英語とスペイン語以外の言語を学ぶ機会を与え、異文化に触れる機会も与えている。

サービスラーニング、外国語を学ぶ機会を与えることで、彼らの将来に繋がっている

- 彼らが経験している文化だけではなく様々な文化があるということを知ることによって視野が広がる
- 自分以外のコミュニティーを知ることによって多様性を知ってもらう

視野が広がれば様々な意見を理解したり問題に気付いたりできる。

→これらの力が、様々な問題を解決へと導く。

# Outcome 4~ Multicultural Community Building/Civic Engagement

グループの中の三人において多様な背景や経験があるので、一緒に活動することによって、私たちは多文化なコミュニケーションのスキルをもらった。

子供達がまだ小さい頃に異なる文化と出会ったので、将来、よりスムーズに多文化の人と交流出来る。

さらに、そのような多文化の考え方を生徒達に教えることによって、どうやってコミュニケーションした方がいいか分かった。また、より多様で寛容なコミュニティを築く手助けになったと思う。

私達はそれぞれ将来に違う計画があるが、サービスラーニング以外でそのようなコミュニケーションスキルを活用できるので、個人的にも社会を変えることが出来ると思う。

ご清聴ありがとうございました。

